



気仙沼市 社協だより

編集発行

社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会

〈公式ホームページ〉 <http://kesenuma-shakyo.jp/>



スマートフォンのLINEアプリから「友だち追加」できます。



本所 ◆ 気仙沼市東新城二丁目1番地2
TEL 0226-22-0709 / FAX 0226-22-4467
E-mail: keshakyo@watch.ocn.ne.jp

唐桑支所 ◆ 気仙沼市唐桑町石浜282番地3(唐桑保健福祉センター「燦さん館」内)
TEL 0226-31-2051 / FAX 0226-31-2052
E-mail: karakuwa-shakyo@ceres.ocn.ne.jp

本吉支所 ◆ 気仙沼市本吉町津谷館岡51番地6
TEL 0226-42-2231 / FAX 0226-42-1241
E-mail: moto-sha@kind.ocn.ne.jp

おかげ様で100号!!



(新市社協スタートに合わせて第1号を発行)



(カラーバリエーションの変更)

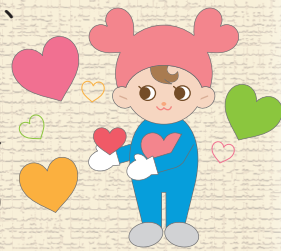


(現在は表紙・裏表紙がカラーに)

気仙沼市社協だよりは、平成18年の4月に第1号を発行し、おかげ様で今回、第100号を迎えました。

これからも社協だよりが地域の皆様に愛されていくよう、地域の福祉活動の発信や皆様の声を紙面に載せてまいりますので、ご意見やご感想、福祉のこんな情報が知りたいなどのご要望がございましたらどうぞ、本会までお届けください。

また、本会ホームページ (<https://kesenuma-shakyo.jp/>) やLINEなどでも情報発信を行っておりますので、ぜひご覧ください。



気仙沼市社協

敬老作文 最優秀賞

ばあちゃんはまほうつかい

小泉小学校一年 小野寺 永真

「ばあちゃん。」

わたしは、いちにちになんかいてもばあちゃんをよびます。どうしてかという、それは、ばあちゃんがすきだからです。

ばあちゃんは、みんなよりあさはやくおきて、かぞくぜんいんぶんのごはんのじゅんびをしてくれます。わたしががっこうにいくときは、かならず

「いつてらっしゃい。えま、がんばってね。」

と、えがおでみおくとてくれます。わたしがえつてくるまで、ばあちゃんは、いえのかたづけやそうじをしています。いえにかえるときには、まいにちがっこうにむかえにきてくれます。そのときも、ばあちゃんはえがおで

「おかえり、えま、きょうもがんばったね。」

と、いつてくれます。ばあちゃんには、わたしががんばるといつばいほめてくれます。するとまた、がんばろうとおもう、ふしぎなきもちになるまほうをかけてくれます。

わたしは、よるねるときもばあちゃんとねます。ふとんにはいると、ばあちゃんはえほんをよんでくれたり、しりとりにしてねかせてくれます。わたしがねむれないときは、ぎゅつとだきしめて、ねむれるようにまほうをかけてくれます。ばあちゃんのふしぎなまほうで、すぐにねてしまえます。もしかすると、まほうは、ばあちゃんのおいかな。わたしは、ばあちゃんのおいぐだすきだからです。

わたしの、ばあちゃんのだいきらいなものをひとつしています。それは、ヘビです。

気仙沼市社協では、九月八日に敬老作文コンクール審査会を開催しました。

市内の小学校一年生から六年生を対象に作品を募集。今年は六十一作品の応募がありました。審査の結果、最優秀賞に六編、優秀賞に十八編の作品が選ばれました。今号では、最優秀賞作品をご紹介します。

おもちゃのヘビをつかえば、あちゃんをびつくりさせると、「うわ、びつくりした。」

と、いつて、わらいます。ちよつとおつちよこちよいだけど、とつてもたのしく、いつもわらわせてくれる、おもしろくてやさしいばあちゃんです。

そんなばあちゃんだから、ともだちがいつばいいます。わたしもばあちゃんみたいにと

もだちをいつばいつくりたいです。わたしがいたずらをして、ちよつとおおるときもあ

るけど、だいすきなばあちゃん。ずつとずつとげんきでながいきしてね。おとなになつたら、わたしもばあちゃんみたいになつて、みんながしあわせになるまほうをかけてあげたいです。

あじがづひいおばあちゃん

鹿折小学校二年 内海 心陽

七月二十六日の夕方。おかあさんから、ひいおばあちゃんが亡くなったことを聞きました。ひいおばあちゃんは、わたしが生まれたとき、とてもよろこんでくれ、たくさん

いつも楽しくて、学校のことやべんきょうのことなどいつもたくさんのお話をいつしよにしました。ひいおばあちゃん

がねたきりになつてからも、わたしは、ひいおばあちゃんに声をかけたり、みかんをあげたりしてひいおばあちゃん

と一しよにすごしました。そんな大好きなひいおばあちゃんが亡くなったと知り、とてもかなしかつたです。大好きなひいおばあちゃんにもう会えないのかと思うと、なみだ

が止まりませんでした。おそろしきの間、ずつとないてしまいました。

だけど、おそろしきの日のよる、ひいおばあちゃんが空からわたしのことを見ているような気がしました。だから、まださみしかつたけれど、これからはがんばることを心の中でひいおばあちゃんに伝えました。これからはわたしが

がんばりを天国から見まもつていてくれるとうれしいです。はじめてみ近な人が亡くなり、わたしは今まで「しぬ」ということをかんとんにつかつていたことに気づきました。人がしぬのはこんなにかなしのことだと知り、わたしのこれまでのことばづかいを

はんせいしました。

ひいおばあちゃんが亡くなったことで、いのちの大切さややさしい心についてあらためて考えることができました。これからは自分のいのちも大切にしながら、まわりの人にやさしいことばをつか



ていきたいです。ひいおばあちゃんに教えられたことをわすれずに、これからも生きていきたいです。

私のおもい、天国へとどけ

気仙沼小学校三年 金野の 新

二月三日、九十三才のひいおばあちゃんは、天国へたび立つてしまいました。私ほどもおどろきました。いろいろな事が頭にかびました。具合が悪いところを見ていなかっただったので、全く信じられませんでした。

ひいおばあちゃんは、美容でした。ひいおじいちゃんが津波で死んでから、一人で家にいましたが、五年前にせつに入っていました。私が時どき面会に行ったり、ひいおばあちゃんがばあばの仕事場のお店に来たり、家に来たりしていました。たまにしか会えないけれど、ひいおばあちゃんもしっかりしていて、七人のひまごの名前までおぼえているおしゃれで、とてもカッコよくて、優しく、おもしろいところもあり、大好きなひいおばあちゃんでした。

目をついでいます。いつも仕事をみていて、大きくなった私も美容師になろうと考えています。この事を何でひいおばあちゃんに伝えなかったのか残念に思います。

私はいつも、思ったことや言わなくてはいけない事をすぐ言わず、後にするくせがあります。ひいおばあちゃんにこの私の気持ちを伝えていたらどんなに喜んでくれたか、もしかしてまだ生きていたかも、などと思いきやまれます。伝えたい事はすぐ伝える。という事がとても大事なんだと感じました。

夜ねる時、ひいおばあちゃんの写真を見て話しかけています。

「天国で何やってるの？ひいおじいちゃんと仲よくしますか？コロナがなくなったら、もつともつと会えたのに、かなしくつてしょうがないよ。ひいおばあちゃん、いつものようにおしゃれして、いつもカッコよくいてね。ばあばも、お母さんもお店の仕事がんばっているから安心してね。」私も早く大きくなってひいおばあちゃんの仕事をつぎたいです。

優秀賞

- ぼくのおじいじとばあば 気仙沼小一年 齋藤 幸希
- ふたりのおばあちゃん 九条小一年 高橋 紗帆
- おじいちゃんだいすき 唐桑小一年 石塚 莉桜
- ぼくのぴーばあちゃん 松岩小二年 佐藤 權士
- わたしの、ぴいちゃん 階上小二年 福田 悠乃
- わたしのじまん 面瀬小二年 安部 陽菜
- ぼくのおばあちゃん 九条小三年 尾形 幸成
- ひいおじいちゃんなんでもはかせ 中井小三年 工藤 朝日
- ぼくのおばあちゃん 津谷小三年 佐藤 晴哉
- おじいちゃんとおばあちゃんの野菜 階上小四年 佐藤 結月
- おとほげばあば 大島小四年 菊田 遙孔
- 私の好きなおばあちゃんたち 中井小四年 菅原 美空
- おばあちゃんの元気野菜 鹿折小五年 小野寺葵衣
- 私の大切な人たち 中井小五年 千葉友梨乃
- おじいちゃんの野菜 津谷小五年 三浦 詩乃
- たみちちゃんとお別れ 階上小六年 三浦 椛暖
- 孫好きなばあば 面瀬小六年 若生 啓汰
- ぼくの大切な家族 中井小六年 小野寺春人

わたしはぴいちゃんの

かんごじさん

松岩小学校四年 畠山咲愛

わたしには、八十八才のぴいおばあちゃんがあります。毎日、畑仕事や家の仕事だけでなく、わたしたちの遊び相手などしてくれる、とても元気なぴいちゃんです。とても大きなキュウリやかぼちゃを作ることができたり、わたしといっしょにトランプやかかるたをしてくれるので、ぴいちゃんはわたしのじまんです。そんな元気なぴいちゃんですが、ひざやこしのいたみには勝てなくて、毎日薬を飲んだり、しつぷをはったりしています。こしにしつぷをはるのが大変そうだったので、「はるの、お手つだいしゅうか?」と、声をかけました。するとぴいちゃんは、「それは助かるよ。じゃあお願いしようかね。」と笑顔で言いました。初めてしつぷをはった時は、しつぷ

と言ひ、わたしの頭をなでてくれました。たまに、テレビを見ていたり、弟たちと遊んでいて、手伝うのが、めんどうだなど思う時もあるけど、ぴいちゃんの「ありがとう」の言葉を聞くと、「やってみてよかったな。明日もがんばろう。」と思えます。

わたしのしよう来のゆめは、かんごしになることです。かんごしになって病気やケガでつらい思いをしている人のお手つだいをしたいからです。ぴいちゃんにしよう来のゆめについて、話をしたら、「それはとてもすてきなゆめだね。さくらはやさしいし、思いやりがあるから、きつといいかんごしになれるよ。ぴいちゃんが、ほしようするよ。」と、自分のむねをどんとたいて、笑顔で言ってくれました。これからたくさん勉強して、すてきなかんごしさんになるから、ずつとおうえんしていいね。それまでは、ぴいちゃんせんもんのかんごしさんでいるからね。

◆令和4年度敬老作文講評◆

本会では、敬老の日を迎えるに当たって、児童が高齢者に対する理解を深めながら敬老の心を培うことを目的とした敬老作文コンクールを行いました。

市内14の小学校より61点のご応募をいただき、元教員、福祉関係者などの審査員9名により厳正なる審査を行い、最優秀賞6点、優秀賞18点が選ばれました。



【講評】

1・2年生：コロナ禍もあってか、遠く離れて暮らす祖父母の話題が少なく、身近な祖父母や近所の高齢者との日常を書いた作品が多くみられた。祖父母が「野菜を作っている」「野菜が美味しかった」という感想だけでなく、誰かのために一生懸命作っているということに対して、感謝するなどの視点があるともっと良くなるのではないかと思う。

3・4年生：祖父母の普段の生活の様子や得意なことを記述する作品が多く、情景が目につかぶと共に児童の祖父母に対する優しい思いが表れていた。また、祖父母との関わりから、自分の夢ややりたいことへと表現を広げている優れた作品も見られた。関わりや思いの部分膨らませることで、さらに良い作品が多くなるものと感じられた。

5・6年生：家族で協力しながら生きていこうとする姿や一緒に畑仕事等をする中で、祖父母が家族のために一生懸命働いている姿をうまく表現していた。また、祖父母・曾祖父母の病气や死を通して、これから頑張る生きていこうとする気持ちがあまく書かれているものもあった。来年もまた、心温まる多くの作品と出会えることを楽しみにしています。



小さくなった おじいちゃんおばあちゃん

新城小学校五年 菅原 吉太

ぼくは、夏休みに一人で新幹線に乗り、北海道に行くという冒険をしました。初めて

の一人旅でドキドキしたけれど、新函館北斗駅のホームで優しくほほえむおじいちゃん

とおばあちゃんの顔を見たとき、たんほつとして、その後うれしさが込みあげてきました。

ぼくが小学校二年生の頃の冬以来、二年半ぶりに会いましたが、二人の横にならぶと

前の時よりも顔が近くなっていて、二人が小さくなったように感じました。

ぼくのおじいちゃんは九十才です。それでも、毎日ウォーキングをしたり、畑の草刈り

や収穫した野菜の重いケース

時代の話など、昔の話をたくさん聞かせてくれました。おばあちゃんは、ぼくがピアノを弾いてあげると、いつも喜んで聴いてくれます。また、近くの小学校のグラウンドで、野球のキャッチボール

やノック、バッティング練習をしていて、その様子を見てたくさんほめてくれて、ぼくはとても自信ができました。

今はコロナ禍で難しいけれど、いつかぼくの野球の試合も見るに来てほしいです。

そんな二人ですが、おじいちゃんはこの二年半の間に、耳が遠くなってしまうました。

ぼくは、おじいちゃんとおばあちゃんが大好きです。いつまでも元気で長生きしてほしいです。おじいちゃんとおばあちゃんのために、これからもっと勉強したり、

体を鍛えたりして、さらに大きくくなって、おじいちゃんと

おばあちゃんの力になりたいです。野球もがんばって活躍し、二人を喜ばせたいです。冬にまた行って今度は雪かきの手伝いをします。

これからも元気でいてね、大好きなおじいちゃん、おばあちゃん。



だいじょうぶだあ

津谷小学校六年 佐藤大空

「だいじょうぶだあ。」
 今日も畑からじいちゃんのいつもの声が聞こえてきます。ぼくはその声が聞こえる方を目指し、じいちゃんが育てたとうもろこしをかき分けて進みます。ようやく見付けたじいちゃんは、腕や顔を汗で光らせ一生けん命に畑仕事をしています。よく見ると、顔には細かい葉やクモの巣がはり付いています。でもじいちゃんには気にしていないようです。今年の夏はとても暑かったので、ぼくたち家族は広い畑に一人でいるじいちゃんをいつも心配しています。ママは、気温が高い日は必ずじいちゃんに電話して、



「今日も暑いけど大丈夫なの。水分たくさん取って休みながらやっつてよ。」

と、注意をします。ぼくが心配して声をかけても、ママが心配して声をかけても、じいちゃんからはいつも同じ返事が返ってきます。
 「だいじょうぶだあ。」
 この声を聞くとぼくたち家族はみんな安心してしまいます。とれたてのとうもろこしは実がぎゅゅとつまっていて、じいちゃんだけでなく、ぼくたち家族のじまんのとうもろこしです。今年も最高の「だいじょうぶとうもろこし」が

できました。

畑仕事だけで疲れているはずなのに、じいちゃんは遊びに行つてぼくを楽しませようと、沢でカニの捕まえ方を教えてくれたり、山でカブト虫のいそうな木を見付けてくれたりします。少し息が上がってきたじいちゃんをじつと見ていると、じいちゃん

「だいじょうぶだあ。」

と、ぼくの頭をぐりぐりします。一緒に笑うと、じいちゃんともっともっと一緒に過ごしたくなってしまいます。

お酒も大好きなじいちゃん、暑い日やたくさん働いた日にはとてもおいしそうに酒を飲みます。時々飲み過ぎて酔っぱらいじいちゃんになつてしまうこともあるけれど、やっぱりじいちゃんは顔を真っ赤にして

「だいじょうぶだあ。」

と笑っています。ぼくはじいちゃんのこのときの表情が大好きです。



地域貢献

西地区の高橋博行さんは、子どもから高齢者までの交通事故防止を願い、5年ほど前から注意喚起の看板を作成されています。

看板は愛嬌の良い猫のおなかに「とびだしちゅうい」と書かれています。

地区内の公営住宅や横断歩道などに設置され、大変喜ばれています。



ぼくやぼくの家族には、いはまだ亡くなるということがつもだいじょうぶって笑ってくれるじいちゃんだけど、ぼくは知っています。それは、亡くなったばあちゃんを思うとき。ばあちゃんが亡くなったもう三年が経つけれど、じいちゃんにとってはまだ三年。今もじいちゃんは毎日お墓に行つて、毎日ばあちゃんの写真に話しかけています。ぼくは、

「だいじょうぶだあ。」

「だいじょうぶだあ。じいちゃん、ぼくが一緒にいるか



令和4年度 災害ボランティア講座を開催します

新型コロナウイルス感染拡大のため延期となっていた本講座について、下記日程で開催いたします。

防災に関心のある方、防災ボランティア活動に興味のある方のご参加をお待ちしております。

と き 令和4年10月29日(土)
午前の回 10:00~12:00
午後の回 13:30~15:30

ところ 市民福祉センター「やすらぎ」(気仙沼市錦町1-2-1)

内 容 講話：防災と災害ボランティア
体験：防災すごろく
講師：くらしの学びサポートオフィス
HumanBeing 代表 菅原清香 氏

参加費 無料

定員 各回30名(定員に達した場合には受付を終了します)

お申込み・お問合せ 気仙沼市社会福祉協議会 電話 22-0709

ぼうさい・温故知新
～助け合ってご～(GO)！～



無料法律相談会 開催のお知らせ

借金、遺産相続、離婚問題など、
法律的なことについて弁護士が無
料で相談に応じます。
お気軽にご利用ください。

日 時 令和4年11月17日(木)
午前11時～午後3時30分まで
場 所 気仙沼市社会福祉協議会(気仙沼市東新城2-1-2)
申込み 予約制です。(先着14名で締切り)
その他 相談時間は1人30分程度。
弁護士は仙台弁護士会より派遣いただきます。
お申込み・お問合せ
気仙沼市社会福祉協議会 電話 22-0709

新型コロナウイルス感染症の影響による緊急小口資金等(特例貸付) 申込受付期間は
令和4年9月末で終了いたしました。

「24時間テレビ45 愛は地球を救う」へのご協力ありがとうございました

例年、街頭募金にて市民の皆様からご協力をいただいておりますが、今年は本会を会場にチャリティ募金イベントを開催しました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、市内の高校生から協力をいただき、本会マスコットキャラクター「あかりちゃん」のコインアート作成を行った他、会場内でマルシェを開催しました。

雨降りの中、会場まで募金を届けてくださった方も含め、多くの方々からご協力をいただき、本当にありがとうございました。



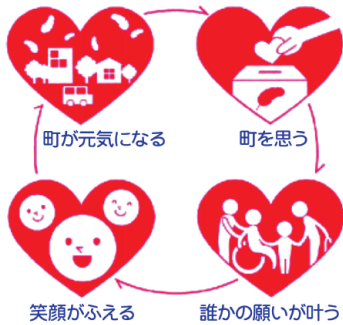


10月1日より

赤い羽根共同募金運動が

令和4年度の赤い羽根募金目標額は
8,240,000円です

始まります



コロナ禍でも“つながる”ことを
あきらめない地域コミュニティ
づくりを支えます

共同募金は、だれもが安心して暮らせる
「まちづくり」を進めるために必要な、
住民団体やボランティア等による地域福祉
活動を支援します。

令和3年度「赤い羽根募金」運動の実績報告

赤い羽根 募金総額

8,245,245円

内訳

毎戸募金	7,713,550円	学校募金	96,936円
個人募金	46,334円	法人募金	53,600円
職域募金	23,765円	その他	330,351円

市民の皆さまからたくさんの善意をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。
令和3年度にお寄せいただいた赤い羽根募金から、令和4年度は下記事業や活動に活用されます。

【地域福祉活動配分】

配分額(円)	団体名
3,277,802	社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会
配分内容	市社協だより、ホームページ運営、敬老作文コンクール、高齢者交流事業、児童福祉施設等への歯ブラシ贈呈事業、災害ボランティア講座、ガイドヘルパー派遣事業等に配分



宮城県共同募金会からお知らせ 「むすび丸ピンバッジ募金」スタート!

宮城県共同募金会では、今年も仙台・宮城観光キャラクター「むすび丸」とコラボしたピンバッジを作製し、「むすび丸ピンバッジ募金」を行います。

第10弾となる今回は、宮城県内の市町村社会福祉協議会が行う防災資機材整備の助成に活用します。近年、自然災害が多発しており、防災資機材整備が必要となっています。

10月より期間・数量限定で頒布しますので、皆さまからのご協力をよろしくお願いいたします。



今年も温かいご支援とご協力をお願いいたします



赤い羽根共同募金

宮城県共同募金会気仙沼市共同募金委員会
(☎ 22-0709 気仙沼市社会福祉協議会内)

ご意見・ご感想など、お待ちしております。

TEL 0226-22-0709/FAX 0226-22-4467 E-mail : keshakyo@watch.ocn.ne.jp



この広報紙は「赤い羽根」共同募金の配分等によって作成しました。